

木の建築の可能性を探る

講師：腰原幹雄氏（東京大学生産技術研究所准教授 木質構造学）

今回は、講師に腰原幹雄先生をお招きして木の建築の可能性についてうかがいます。

腰原先生は、木質構造を専門とする構造家で、住宅、公共建築の構造設計とともに、伝統木造・近代木造の調査や保存にも携わっておられます。

古くから木材を使用してきた日本。腰原先生は、時間軸と建物規模で木構造建築を分類し、それぞれの構造的特性、問題点を浮かび上がらせ、日本の木造建築を俯瞰するなかで、現代の木造建築を展望されています。「文化として守らなければいけない木造建築がある。その一方で、今、新しい素材として木が提示されたらどう使うか。今までのしがらみや単純な木造信仰といったものを断ち切ることで、新しい「木」がどんな楽しい空間を生み出すかに向かっていける」と語る腰原先生。

今、日本の木造建築がどのような状況に置かれているのか、木造建築の普及を阻むものは何か、先生のお話を通して、もう一度「木の建築」をとらえ直し、これからの日本の都市と建築を考えていきたいと思えます。ぜひ、ご参加ください。

●日時 2009年10月24日（土） 15:30～ 17:30 （15:00より受付）

●会場 丸美産業株式会社 5階会議室

地下鉄桜通線 瑞穂区役所下車②番出口 1分

*駐車場はありません。公共交通機関でお越しください。

●定員 50名 *定員になり次第締め切らせていただきます。

●参加費 会員 500円

非会員 1000円 *学生は無料

●内容 15:00～15:30 受付

15:30～17:00 講演

17:00～17:30 質疑応答

●問合せ 木愛の会事務局 東海林建築設計事務所内

fax 0568-51-6629 Email info@tokairin.jp

●参加申込み 下記申込書をFAXしていただくか、事務局へメールをお願いします。

「木愛の会」は「木造の街づくり」をめざして毎月世話人会を開いています。「木造」は伝統的な構法や造り方から学ぶだけではなく、新しい方向性を見出していくことも議論されています。また、街づくりも同じで街並みや水辺、緑など、新しい方向性を導き出していかなくてはならないことを熱く議論しています。

木愛の会 講演会 参加申込書

貴社名

ご芳名

人数

ご連絡先 〒

TEL

FAX

E-mail

腰原幹雄先生プロフィール

東京大学工学部建築学科卒業。
同大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了。
2005年より現職



●かかわられた研究テーマ・調査等

【近代木造建築】

八幡浜市立日土小学校の保存改修では構造調査と構造補強
須賀川市の繭倉の保存改修

【既存木造住宅】

木造住宅の耐震性能に劣化が及ぼす影響

【現代木質構造建築】

木質ラーメン構造の開発
木質組構造

【高層木質構造建築】

木質複合構造 5階建ビル（金沢エムビル）
下馬プロジェクト（中高層木質構造）

●著書・寄稿

「日土小学校再生に向けて」日本建築学会四国支部 2006.3

「木質複合建築構造技術の開発」日本建築センター2002-2004

「インタビュー・木造建築は第二の森林。学校、病院などの公共建築を多層木造建築にしませんか」

中部建築ジャーナル 2009.4

「近代木造とは何か」住宅建築 2008.12

「木造の諸相、その先にある建築」新建築 2006.3